

ふたりごころ

新野の  
祐子

元従軍慰安婦 宋神道さん他界

宋さん逝く冬のすみれの笑むように

浮寝鳥のみどにうれい溜めており

銀嶺にヤツケあざやか初景色

初句会ふたりごころを待<sup>た</sup>みとし

誰そ捨てしレジ袋引く寒鴉

手袋に獣性隠しいたりけり

冬空は色即是空の空ですか

猫がいて華やかと父寒四郎

寒禽にか行の発声習いけり

日脚伸ぶちちははの足揉みおれば